

データ番号	205 (資料7)
効用の種類	香りによる生理・心理的効用
見出し	チュベローズの香りで免疫機能が回復する
出典	(『フレグランスジャーナル』1994-1) 「香りの効用の研究動向と今後の課題」 谷田正弘
内容	*久留米大医学部免疫学講座・横山教授グループの研究によると、高圧ストレスをかけたマウスに種々の香りを嗅がせ、香りの感覚が免疫系におよぼす影響を実験した結果、天然精油中チュベローズ(月下香)、ラブダナム、オークモス等の香りが、ストレスにより低下した免疫機能を回復させる働きがあることを確かめた。正常なマウスの免疫力を100と設定した場合、高圧ストレスをかけたマウスに香り無しの場合では約65、チュベローズは250、ラブダナムは150程度の回復効果がある。
備考	*「Shibata, H, R. Fujiwara et al., Intern. J. Neurosciences, 151, 245-247 (1989)」より

出典：フレグランスジャーナル1994-1 「香りの効用の研究動向と今後の課題」谷田正弘

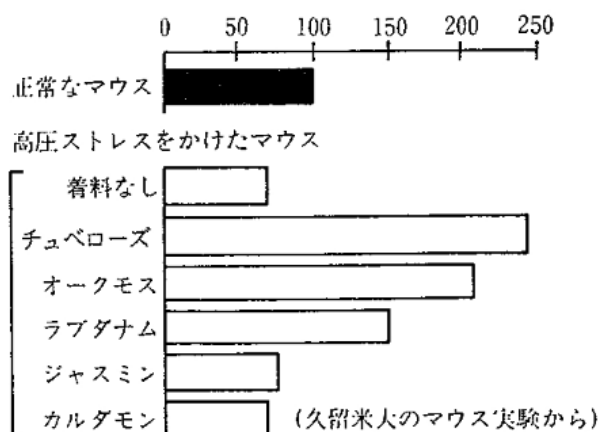
◆実験：香料による免疫力の回復効果

(*久留米大学医学部免疫学講座・横山グループの実験紹介)

高圧ストレスをかけたマウスに種々の天然精油を嗅がせて免疫力の回復効果を測定した。その結果、チュベローズ（月下香）、ラブダナム、オークモスなどの香りが、高圧ストレスにより、低下したマウスの免疫機能を回復させる働きがあることがわかった。とくにチュベローズは正常なマウスと比べても、2.5倍の回復力がある。

(*Shibata, H, R. Fujiwara et al., Intern. J. Neurosciences, 151, 245-247 (1989))

▼香料による免疫力の回復効果
(正常なマウスの免疫力=100)



◆うつ病治療にも効果

(「第23回日本神経精神薬理学会要旨集・小森照久 藤原良一 他より (1993)」より)

上記のような免疫賦活効果のある香りを臨床的に応用したところ、うつ病の治療に良好的な成績を上げた。香りを用いることにより免疫指標のバラつきなどの*ホメオスタシスの乱れを改善している可能性があることが日本神経精神薬理学会で発表された。

*ホメオスタシス：恒常性維持機能。意志と関係なく自律的に生体を一定に保とうとする性質のことである。主に神経系と内分泌系に關与する。